

2024年2月14日

各位

ティーエスアルフレッサ株式会社
日本ドローン機構株式会社

「ひろしまドローン活用推進協議会」設立のお知らせ ～離島、へき地における持続可能な医薬品等の配送実現に向けて～

アルフレッサ ホールディングス株式会社の子会社であるティーエスアルフレッサ株式会社(本社:広島県広島市、代表取締役社長:高橋卓詩、以下「ティーエスアルフレッサ」といいます。)と日本ドローン機構株式会社(本部所在地:東京都墨田区、代表取締役:佐多大、以下「日本ドローン機構」といいます。)は、ひろしまドローン活用推進協議会を設立し、離島、へき地におけるドローンを活用した医薬品等配送の実証実験を開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

日本は、人口減少・高齢化に伴う労働力不足、地域の物流網維持、離島やへき地への医療の提供、物流のCO2排出量削減、防災などの社会課題に直面し、ドローンの活用による課題解決への期待が高まっています。ドローンを活用することで、山間部等の険しい道であっても地形に左右されずに配送ができる他、輸送にかかる人件費や、燃料費、および車両での配送時に排出されていたCO2を削減することにつながります。また、交通渋滞や道路状況等の影響を受けずに被災地へ配送が可能なドローン配送の実現は災害対策にもつながります。

このような中、生命関連商品である医薬品等を流通する社会インフラ企業であるティーエスアルフレッサ、国家資格であるドローンの講習事業を全国で展開する日本ドローン機構は、「ひろしまドローン活用推進協議会」を設立いたしました。同協議会では、廿日市市をオブザーバーとして受け入れ、ドローンを活用した医薬品等配送の実装に向けた準備を進め、離島やへき地における医薬品等の物流課題を解決するとともに、持続可能な医療の提供に貢献することを目指し、廿日市内の離島やへき地へのドローンを活用した医薬品等配送の実証実験を行い、医薬品等の運搬に関する品質と安全性を確保するための検証を行います。

なお、本事業は、環境省の「社会変革と物流脱炭素化を同時実現する先進技術導入促進事業」に採択されております。

■ティーエスアルフレッサ株式会社について

ティーエスアルフレッサ株式会社は、生命関連商品である医薬品等を流通する社会インフラとして、中国地方を営業基盤に地域に密着した営業活動を展開しております。ドローン国家資格者7名を在籍させており、自治体が行うドローン体験会や災害訓練に協力しています。

■日本ドローン機構株式会社について

日本ドローン機構株式会社は、2023年3月20日付けで国土交通省航空局より登録講習機関として登録され、国家資格であるドローンの講習事業を全国で展開しています。また、ドローンの販売・修理、ドローンを使用した周辺サービス事業(撮影・測量・点検・配送/輸送等)の展開もしております。

■廿日市市について

広島県西部に位置し中心部は広島駅からJRで20分とアクセス良好であり、また、最新の総務省統計局発表によると県内自治体で最も転入者数が転出者数を上回る転入超過の自治体となっております。

2022年には、カーボンニュートラルを目指す「ゼロカーボンシティ」に挑戦することを宣言し、2023年には中四国九州地方で初めて、本市内に有する世界遺産の宮島がゼロカーボンパークに登録され、一層脱炭素化への取り組みを推進しているところです。

■お問い合わせ先

アルフレッサ ホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション部 Tel:03-5219-5102(直通)

以上